

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	基礎演習 II		
担当者(Instructors)	柿原 聖治	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>グループでの学びを体験することを主な目的とする。「基礎演習 I」を個人の力の育成とするなら、「基礎演習 II」は大学生活の更なる充実を目指して、自発的な学習やグループを中心とした学習活動を行う。具体的にはテーマを設定したレポートの作成やプレゼンテーションを通して、研究のまとめ方と、発表に際しての工夫や表現力を身に付ける。そのことによって、グループ内での役割分担などチームでの物事の進め方を体験的に学習する。さらに、専門教育への動機付けとして、専門家による講演を聞く。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を実施する。授業内容に応じて講義、グループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	基礎演習シラバスの説明と学生生活に関する注意事項、大学祭の説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	情報検索ガイダンス、履修カルテ記入	情報検索のガイダンスと履修カルテの記入を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	大学祭企画・グループディスカッション	大学祭企画についてのグループディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	大学祭準備 (1)	大学祭「キッズ広場」の準備としてイベントの計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第5回	大学祭準備 (2)	大学祭「キッズ広場」の準備として制作物を作成する。	<input type="checkbox"/>
第6回	大学祭準備 (3)	大学祭「キッズ広場」の準備として発表練習を行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	大学祭準備 (4)	大学祭「キッズ広場」の準備としてリハーサルを行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	ゲストスピーチ	専門分野で活躍する人物の講演会を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	プレゼン大会の説明とグループ分け	プレゼン大会の説明とグループ分けを行いプレゼンテーマを考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	大学祭 (キッズ広場) の運営 (1)	大学祭 (キッズ広場) で子どもの実践的な保育・教育を行うための準備をする。	<input type="checkbox"/>
第11回	大学祭 (キッズ広場) の運営 (2)	大学祭 (キッズ広場) で子どもの実践的な保育・教育を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	プレゼン準備 (1)	各ゼミのプレゼンテーション大会の準備として調べ学習を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼン準備 (2)	各ゼミのプレゼンテーション大会の準備としてまとめを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	プレゼン準備 (3)	各ゼミのプレゼンテーション大会の発表準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	プレゼンテーション大会	各ゼミのプレゼンテーション大会を行う。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
<p>事前学習として、次回の授業を理解するために、毎回指示するテーマや課題を予め調べておく (2時間程度)。事後学習として、授業で扱ったテーマや課題について関連資料を参照しながら復習する (2時間程度)。</p>	

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)	
<p>提出されたレポートについては、添削・採点の上返却し、全体で共有する機会も持ちながら課題に対しフィードバックを行う。</p>	

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	研究の基本的な進め方について理解し、研究の結果を発表することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	論文、図書等を理解し、それらに対する自分の考えを文章でまとめることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	主体的に自らの課題や教育保育現場の課題に取り組み、収集した情報や体験を基に課題を自ら克服することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 課題提出をもって、出席とする。毎回の授業の振り返りから、授業への取り組みの様子を評価する。大学祭での取り組みの様子やプレゼンの発表内容から、思考力・表現力・判断力が身についたかを評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		